

# たんぽぽ通信

「医」成雅会 介護老人保健施設 永寿苑

○『たんぽぽ通信再開にあたり』

拝啓 盛夏の候、皆様にはお健やかに過ごしていることと存じます。

さて、久しく「無沙汰」しておりますが、この度、「たんぽぽ通信」を再開する運びとなりました。新型コロナウイルス感染症では、感染対策に追われ、皆様方にも大変ご協力頂き感謝申し上げます。面会等も徐々に緩和させて頂き、皆様がご家族様と過ごす時間を少しでも多くとることができるよう、私共も努力して参りたいと思っております。

ところで、介護老人保健施設は地域に根ざした施設の役割を兼ね備えております。全国老人保健施設協会では次の様に掲げています。「家族や地域住民と交流し情報提供を行い、さまざまなケアの相談に対応します。」これは一部ではありませんが、「老健」は地域と一体となり、高齢者のケアを積極的に担います。

この「たんぽぽ通信」は、その役割の一つでもあり、今後も入所者様に限らず、ご家族様、地域住民のため有意義な情報の提供、ケアの共有ができるよう「サー」の向上を図ります。

永寿苑は、この地域にあって頼りとなる老健を目指し、情報発信を行ってまいりますと思っております。

敬具  
(施設長 馬場 亮二)

○運動会

6月19日(水)に運動会を予定し、各フロアで応援団長の選出と応援歌を作り、5月下旬からは応援歌の練習に取り組んでいました。しかし、6月上旬に感染症が発生したため、一時は運動会の中止も検討されましたが、入所者の皆様の練習の成果を披露する場が必要だということと、運動会は10月に延期することになりました。少し先になりましたが、日々の練習を積み重ね盛り上げていきたいと思っております。

さて、7月7日は七夕です。永寿苑では7月17日に七夕会を予定しております。各フロアに短冊を準備し、入所者様おひとりおひとりの願いごとを短冊に書いて飾り付けを行います。皆様どのような願いごとをされるのでしょうか。

事務室受付に短冊を準備しております。ご家族の皆様もぜひ、願いごとを書いていただき、短冊を飾っていただけたらと思います。



○『熱中症にご注意を』

厚生労働省では、「熱中症とは、高温多湿な環境に長時間いることで、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。屋外だけではなく室内でも発生している時でも発症し、救急搬送されたり、場合によっては死亡することもあります。」と書かれています。とても怖い病気ですね。室内でも発生していない時でも発症するため、この連日の猛暑

ではより一層の対策が必要です。特に高齢者は、暑さや水分不足に対する感覚機能や身体の調整機能も低下しているので注意が必要です。熱中症患者のおよそ半数は65歳以上の高齢者だと言われています。

昨今の物価高で、電気代も節約したいところではあります。健康や命に勝るものはありません。室内では扇風機だけでなく、エアコンも使い、適温(28度以下)を保ち、のどの渇きを感じなくても、こまめに水分・塩分補給をしましょう。

(支援相談員 岩崎さやか)



○お知らせ

★7月17日(水) 10時〜 多目的ホールにて『七夕会』を予定しております。



★介護保険負担限度額認定書の更新について

7月は負担限度額認定書の切り替えの時期となっております。更新用紙が送られてきますので、各自ご家族様で7月中に手続きをお願いいたします。

新しい認定証が届きましたら、「コピー」させて頂きますので、事務所までご持参していただきますようお願い致します。 令和6年 夏